


Q : 印刷方法について

- 今回のテーマは「印刷する」です。
 工程's ファイルを印刷する場合、「プリンタ」で作成した工程表をそのまま印刷する方法と、
 工程's 付属ツールの「BarChart Factory (バーチャートファクトリー)」で枠付き帳票を作成後、
 工程表を差込印刷する方法の2つがあるため、今回と次回の2回に分けてレクチャーします。

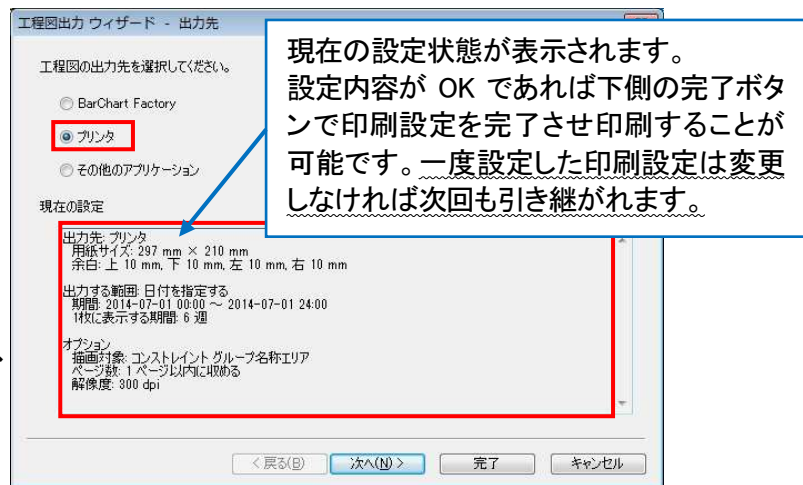
方法1 : 直接プリンタで印刷する。 ※BarChart Factory を利用しない方法

①印刷コマンドを選択、[工程図出力ウィザード-出力先]で[プリンタ]を選択しましょう。

工程表を印刷するには[ファイル]メニューから [印刷] を選択するか、ツールバーの  をクリックしてください。

[工程図出力 ウィザード - 出力先] ダイアログにて [プリンタ] を選択し [次へ] ボタンをクリックします。[キャンセル] ボタンをクリックすると処理をキャンセルします。

注1) 印刷設定は次回印刷時に引き継がれるので、前回と同じ印刷設定で良い場合は[完了]ボタンで設定を完了させることができます。



②[工程図出力ウィザード-プリンタ]で用紙サイズと余白を設定しましょう。

[工程図出力 ウィザード - プリンタ] ダイアログにて、用紙サイズと余白を設定します。設定したら [次へ] ボタンをクリックします。

注2) 出力先プリンタが PC に複数設定されているときは[プリンタの設定...]ボタンをクリックしてプリンタを選択してください。

③[工程図出力ウィザード-出力する期間] ダイアログにて、出力する範囲 と1枚に表示する期間を設定しましょう。

出力する範囲 と1枚に表示する期間を設定します。設定したら [次へ] ボタンをクリックします。コマンドの詳細は下記のとおりです。

項目		内容
出力する範囲	日付を指定する	開始年月日(時刻)・終了年月日(時刻)に指定した範囲を出力します。
	編集期間と同じ	プロジェクトの編集期間で指定した範囲を出力します。
	表示中の画面期間に合わせる	現在表示されているカレンダーエリアの期間を出力します。
	相対期間を指定する	指定した日付からの指定した期間を出力します。
	表示中のバーに合わせる	現在のビューに表示されている全てのバーを出力します。 (マイルストーン、折りたたんだグループの下位にあるバー、非表示にしたグループ内のバーは対象になりません。)
一枚に表示する期間	期間を指定する	年、月、週、日の単位で1枚に表示する期間を指定します。
	出力する範囲と同じ	1枚に表示する期間を出力する範囲と同じにします。

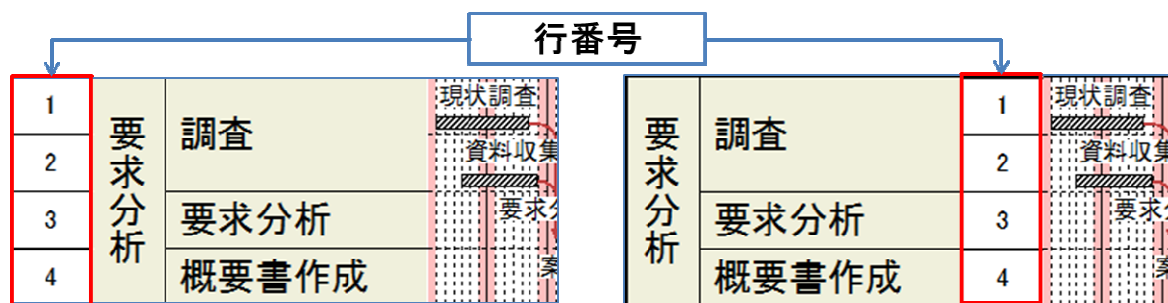
④[工程図出力 ウィザード - オプション] ダイアログにて、描画対象や収めるページ数を設定しましょう。

工程表の描画対象などを設定します。設定したら [次へ] ボタンをクリックします。

コマンドの詳細は下記のとおりです。

項目		内容	
描画対象	マイルストーンを描画する	チェックを入れると、マイルストーンが描画されます。	
	高さ	編集した通りのマイルストーンエリアの高さで出力します。	
	高さ〇mm	指定したサイズでマイルストーンエリアを出力します。	
	山積みグラフを描画する	チェックを入れると、山積みグラフが描画されます。	
	高さ	編集した通りの山積みグラフの高さで出力します。	
	高さ〇mm	指定したサイズで山積みグラフを出力します。	
	コンストレイントを描画する	チェックを入れると、コンストレイントが描画されます。	
	グループ名称エリアを描画する	チェックを入れると、グループ名称エリアが描画されます。	
	幅	編集した通りのグループ名称エリアの幅で出力します。	
	幅〇mm	指定したサイズでグループ名称エリアを出力します。	
	行番号を描画する	チェックを入れると、行番号が描画されます。	
	選択されたグループのみを描画する	チェックすると、選択されたグループのみが描画されます。	
	作業バーの存在しないグループを描画しない	チェックすると、作業バーが存在しないグループは描画しません。[ページ数]の[用紙を節約する]をチェックした場合に有効になります。	
ページ数	縦方向	指定しない	編集した通りに出力します。
		〇ページ内に収める	指定したページ数に収まるように縮小して印刷します。
	用紙を節約する	チェックすると、バーの存在しない行は印刷されません。	
見やすさ	印刷用の色を使用する	チェックすると、モノクロプリンタをご使用の場合にも見やすい配色で出力します。また、現在日の線が少し太く印刷され、コンストレイントと重なっても判別しやすくなります。	
	バーチャートエリアの横罫線を隠す	チェックすると、バーチャートエリアの同一グループ内の横罫線が出力されません(グループ境界は描画します)。	
	月日や通しラインをできるだけ小さい単位まで印字する	チェックすると、カレンダーエリアのプロパティで設定した、表示するラインの範囲で、サイズが0にならない程度にできる限り文字を収縮して印字します。	
	解像度	プリンタによって、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合、解像度を低くしてください。	
その他	アローダイアグラム形式のコンストレイント	チェックすると、バーの存在しない行は印刷されません。コンストレイントが点線で出力されます。また長さが0のコンストレイントが出力されません。	

《Tips》 工程's 5.3 のバージョンから印刷時にグループに行番号を描画することができるようになりました。



[編集]メニュー>環境設定>出力タブで行番号の出力方法と出力位置を設定することができます。

印刷時の行番号をページ毎にリセットする
→チェックしないと行番号は全ページの通し番号となります。

行番号をグループ名称の右に出力する
→チェックしないと行番号をグループの左に出力します。

⑤設定は完了です。プレビューダイアログで確認後、印刷実行しましょう。

[プレビュー] ダイアログでは作成した工程表(EMF 拡張メタファイル)のプレビューイメージを確認することができます。プレビューイメージを確認した後、[出力する] ボタンをクリックすると、作成した工程表(EMF 形式)を印刷します。

[現在のページを保存...]、または[すべてのページを保存...]ボタンをクリックすると、工程表を EMF 形式のファイルとして保存できます。画像ファイルなので、Excel に貼り付けるなどして活用することができます。

[ウィザードへ戻る] ボタンをクリックすると工程図出力ウィザード(設定)へ戻ります。[キャンセル] ボタンをクリックすると処理をキャンセルします。